



TOPPAN と ふくげん

スサノオノミコトが病をもた
らす厄神に悪事を働かぬよう
証文をとる様を描いた大絵馬
「須佐之男命厄神退治之図」。
葛飾北斎晩年のこの大作、残
念なことに関東大震災で焼失
しました。それから約100
年の時を経て、その復元が
TOPPANに依頼されたのです。
手がかりは美術誌『國華』に
掲載された明治時代の一枚
の白黒写真。数々の文化財の
デジタルアーカイブを手が
けてきた私たちにとつても前
例のないプロジェクトでした。
まず写真を最先端のスキャナ
で読み取り、肉眼では判別でき
ない明度差をデータ化。さら
に同じく『國華』に掲載され
た別の画で、作品が現存する

ものを調査。そこから白黒写
真が撮られた当時の撮影技
法を再現しました。絵具の色
とグレーの濃淡の関係、そし
て様々な史料を比較するこ
とで可能性の高い配色を推
定していく。デジタル技術
と、北斎が用いた絵具や筆遣
いを読み解く文化財修復の
職人の眼、北斎の晩年の画を
よく知る専門家の叡智。これ
らを融合し、失われた色を
求め約2年、ついに原寸大
（幅約2m76cm）で蘇らせるこ
とができました。資料でしか
見ることのできなかった文化
財から、実物を見るのと変わ
らない感動までを後世に引
き継いでいく。復元を待つ作
品は、まだまだありそうです。

北斎は、何色の服を着せたのか。

TOPPAN